診療放射線技師の現状と将来

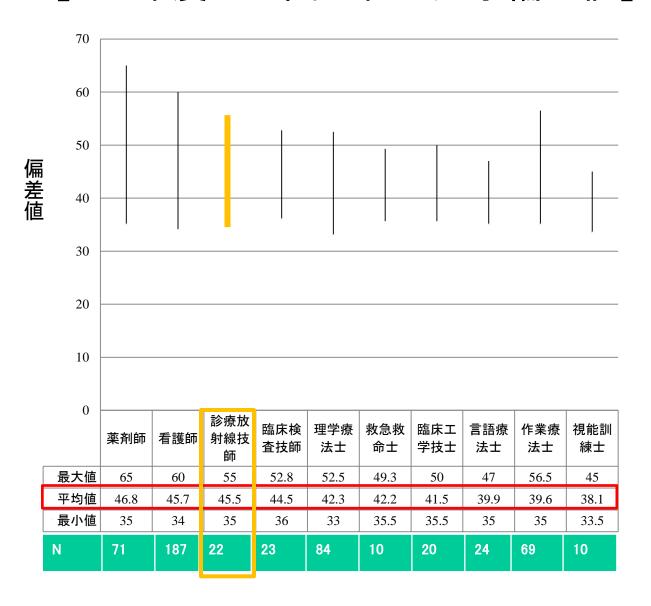
全国病院経営管理学会放射線業務委員会委員

河北総合病院 画像診断部 大地 直之

【検討項目】

- ▶診療放射線技師と他の医療職(医師以外) 薬剤師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、 臨床工学技士、救急救命士、言語療法士、視能訓練士 について比較
 - •入学難易度(偏差值)
 - ・学費(私立大学の入学金、4年間の学費)
 - •国家試験合格率
 - •求人状況
 - •給与
- ▶ 診療放射線技師の将来について
 - •6年制教育について課題

【H30年度の全国の私立大学偏差値】



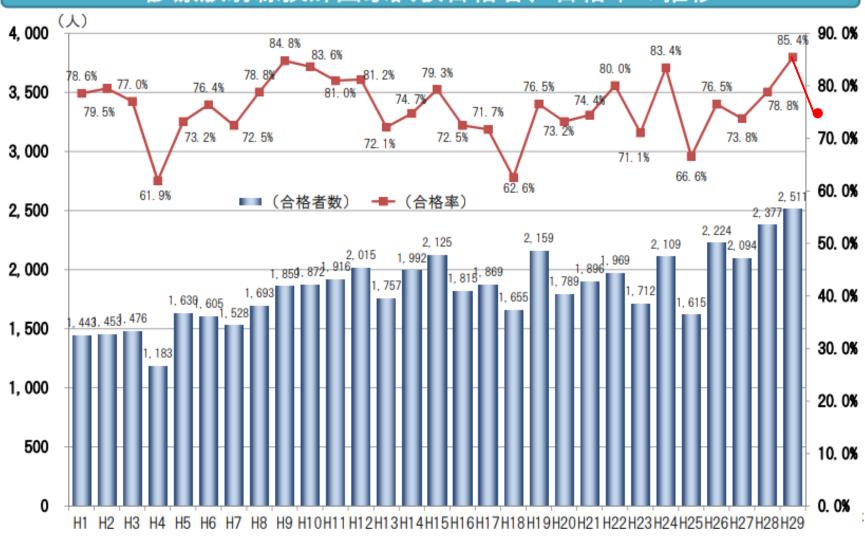
【私立大学在学中の学費(入学金と在学中の合計)】



出典:

保育社:薬剤師の一日・看護師の一日・臨床工学技士の一日・言語療法士の一日・視能訓練士の一日作業療法士の一日・作業療法士の一日・理学療法士の一日 ペリカン社: 診療放射線技師になるには・臨床検査技師になるには・救急救命士になるには

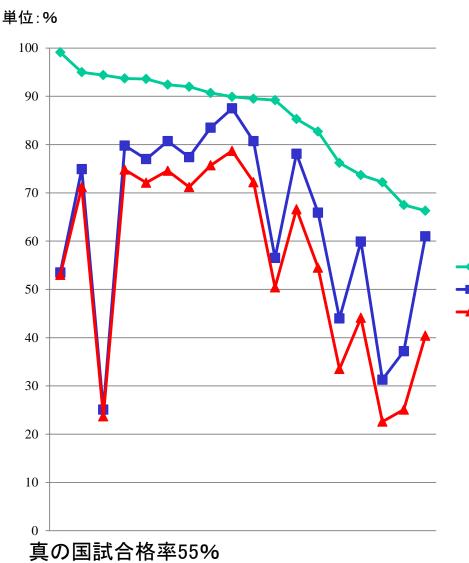
診療放射線技師国家試験合格者、合格率の推移



【H30年 職種別国家試験合格率】



【H30年 関東地方私立大学の薬剤師国家試験合格率】



薬剤師の場合

毎年10%学生が減ると仮定 6年次には60%となり 新卒国家試験合格率85%

真の合格率は50%

新卒国試合格率

6年卒業率

★真の合格率 (平均値55%)

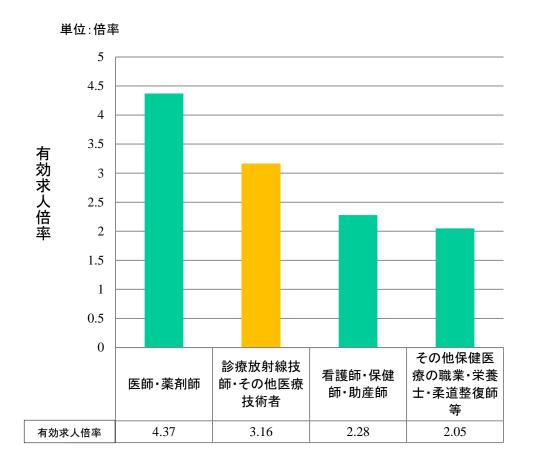
診療放射線技師の場合

毎年10%学生が減ると仮定 4年次には72%となり 新卒国家試験合格率85%

真の合格率は61% (推定値)

⇒100人が入学して6年で薬剤師になれるのは55名 全国平均(50%)

【H30・10厚生労働省職業別の有効求人倍率】

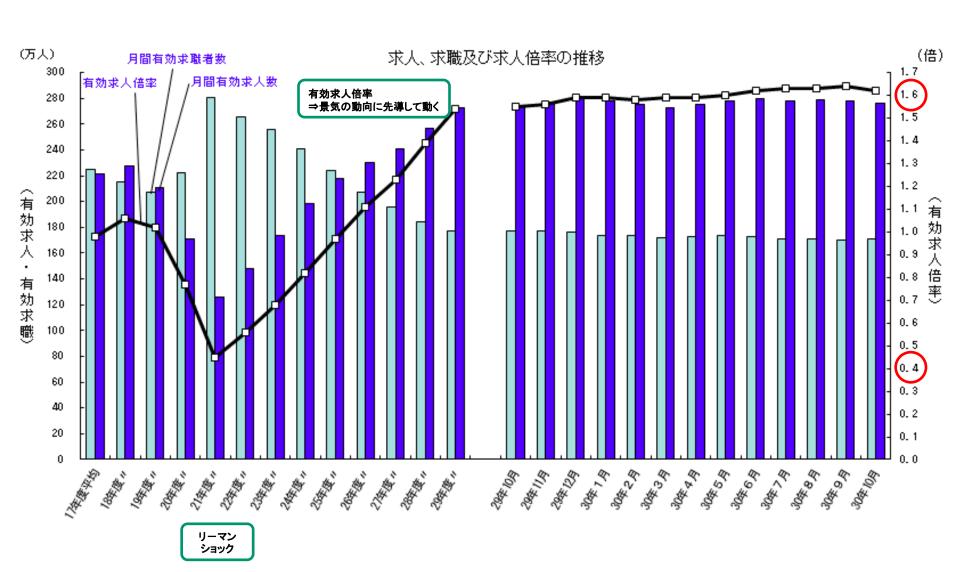


有効求人倍率

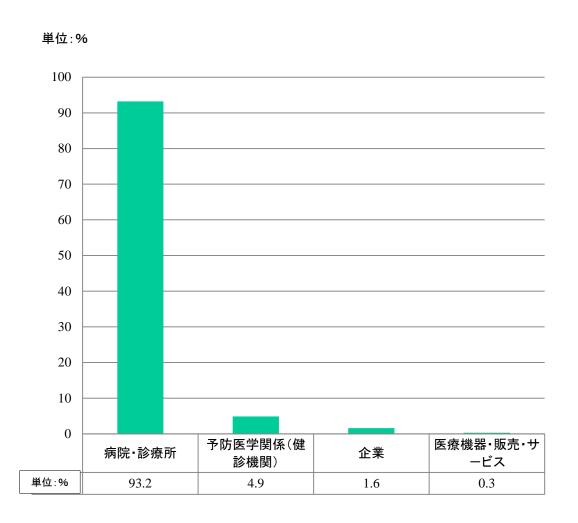
→仕事を探している人1人あたりに、月に何件求人があるか示す。

公共職業安定所の件数より算出 (注)新卒含まない

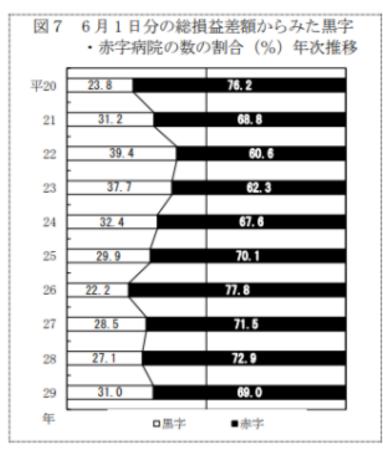
【求人、求職及び有効求人倍率の推移】



【ある大学の放射線学科の主な就職先】



【病院の経営状況の現状】





慢性的な人員不足

→給与が上昇

⇒経営悪化

黒字 赤字

民間病院 62.7% 37.3%

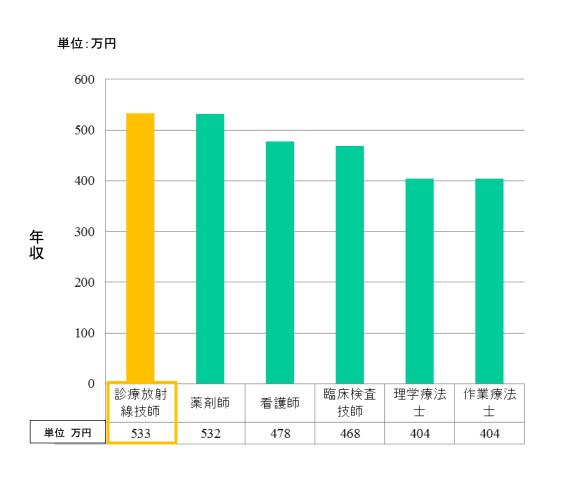
その他公的病院 45.1% 54.9%

自治体病院 11.7%

88.3%←地方公営企業法

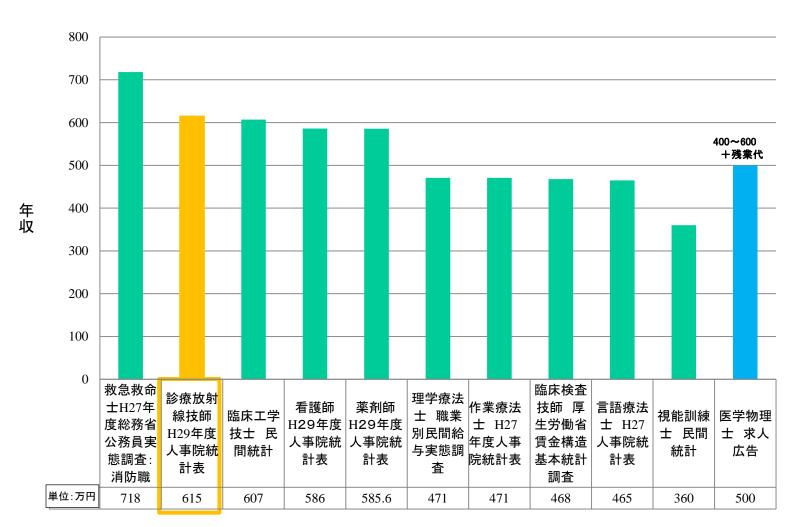
出典:全日本病院協会 H30·6資料

【厚生労働省:賃金構造基本統計調查】



【医療職種別 給与の比較】





【診療放射線技師の10年後】

- •ますます高度な業務に従事
- •教育水準の向上も予想される
- ・読影補助が一般的→今まで以上に重要な役割
- 放射線治療では大学院卒の高度教育が一般的
- -10年後は大卒は約90%
- •6年制の移行も積極的

出典

診療放射線技師の一日:保育社

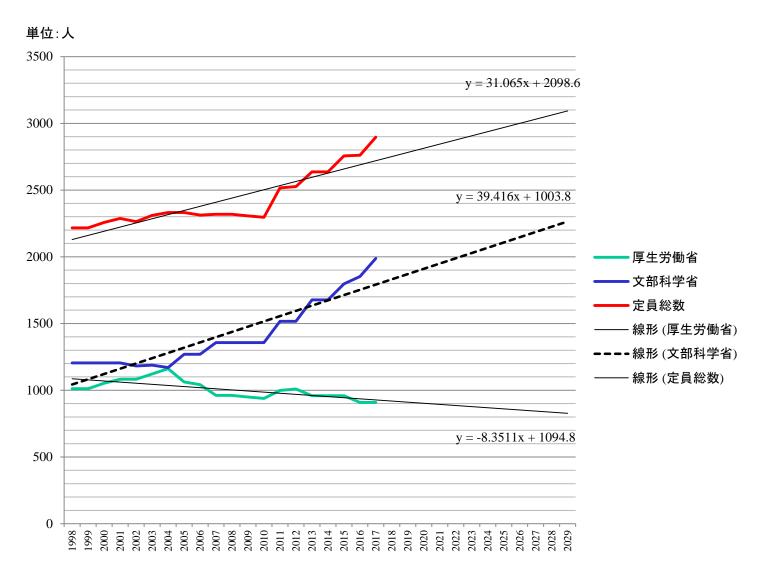
執筆協力:公益社団法人日本診療放射線技師会会長 中澤靖男

診療放射線技師学校養成所数、定員 年度別推移

年次	厚生労働省		文部科学省		at t	
	施設(校)	定員(人)	施設(校)	定員(人)	施設(校)	定員(人)
H10	14	1,012	25	1,205	39	2,217
H11	14	1,012	25	1,205	39	2,217
H12	14	1,052	25	1,205	39	2,257
H13	15	1,082	25	1,205	40	2,287
H14	15	1,082	24	1,182	39	2,264
H15	16	1,122	24	1,188	40	2,310
H16	17	1,162	24	1,170	41	2,332
H17	16	1,062	24	1,270	40	2,332
H18	16	1,042	24	1,270	40	2,312
H19	15	962	25	1,357	40	2,319
H20	15	962	25	1,357	40	2,319
H21	15	949	25	1,357	40	2,306
H22	14	939	25	1,357	39	2,296
H23	15	999	27	1,517	42	2,516
H24	15	1,009	28	1,567	43	2,576
H25	14	959	30	1,677	44	2,636
H26	14	959	32	1,797	46	2,756
H27	14	959	32	1,797	46	2,756
H28	13	909	33	1,852	46	2,761
H29	13	909	34	1,988	47	2,897

[※]厚生労働省医事課調べ

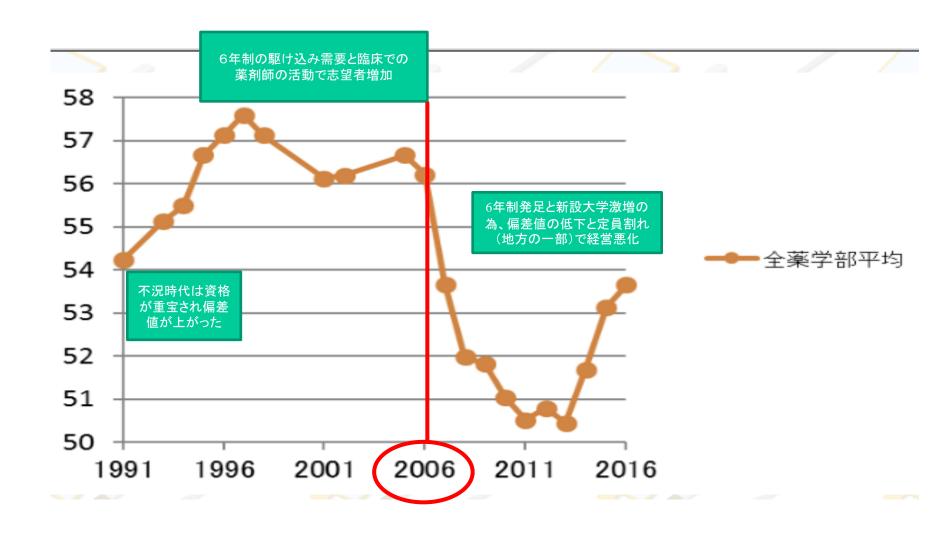
【今後の診療放射線技師学校の定員数(予想値)】



【診療放射線技師の6年制について】

- > メリット
- •専門性を高める
- •病院中枢部に活躍する人材を育成
- ・企業の製品開発に関与する人材
- •博士学位、准教授、教授
- →社会的評価、認知度を高める
- ▶ デメリット
 - ・志望者の減少により偏差値が下がる
 - →学力水準の低下
 - •6年制教育の方向性、将来性を明確にする必要 (専修学校3年以上)
 - ・学費の増加(6年間で1000万円程度)→男性比率が上がる

【薬学部6年制による偏差値の推移】



【まとめ】

- 医療系私立大学の入学難易度(偏差値35以上)
- →専修学校を含めると更に低下
- →薬学部と差は拡大
- ・傾向的に診療放射線技師は学費が高く(専修学校は6割程度) 国試合格率は低い、有効求人倍率は高く、給与は高待遇
- ・年々、有資格者が増加、病院の経営状況の悪化に伴い (民間病院4割赤字)給与が下がる可能性あり。
- •6年制教育に関しては社会的要望はない
- →業務拡大の期待
- →専修学校(修学3年以上)の経済的メリット